

新宮山彦ぐるーぷ第2296回

## 上葛川から笠捨山・蛇崩山のルート状況の確認

◇実施日 6月2日(日) 晴

◇参加者 湯川一郎、阪口雄二 2名

蛇崩山には、私自身は23年前の元日に登った以来で、ぐるーぷ行事としては、平成24年12月に行仙宿から笠捨山を越えて蛇崩山、上葛川に下った以降、登られていない。そんな中、来年の干支を見越してか、笠捨山から蛇崩山・上葛川への登山道の状況を教えてほしいとの問い合わせがあった。

情報収集すると知合いの行者さんが5月に登ったことがわかり、登山道の状況がある程度知ることができた。

上葛川に架けられた吊橋の板は新しく、蛇崩山への標識板もある。登りだしてすぐにガレ場と獣避けネットの出入口と続くが、下山時にわかりにくいという情報もあったので、赤テープ等でわかりやすくした。

稜線まで登ると、そこから先は尾根通しではなく西側と東側を巻いて歩くが、廃小屋から熊谷の頭までは標高差約160mの急登となる。23年前に登ったときには、熊谷の頭から笠捨山方面にはブッシュが生い茂り歩けそうになかったが、今はその跡形もない。新たに熊谷の頭の標識をたてて、笠捨山へと向かった。

最後の一登りで茶臼山からの稜線と合わさり笠捨山東峰に出ると、遠く大普賢岳まで確認できた。

笠捨山西峰で昼食を摂り、熊谷の頭へ戻る際、東峰にある「茶臼山・蛇崩山へは通行禁止」などと表示したプラカードとロープは回収した。熊谷の頭から蛇崩山までは高低差が少なく歩きやすい。蛇崩山は展望こそないものの、自然林がみごとだ。新しい山頂標識をたてて、熊谷の頭に戻り小休止し下山にかかる。ところどころで、阪口さんが道を覆う枝を刈り、倒木を数本処理された。また、登りで取付けた赤テープ等は、下山時目線で確認しながら上葛川に下山した。

### 行動タイム

上葛川 7:12→8:26 尾根分岐 8:26→9:51 熊谷の頭 9:58→11:07 笠捨山 11:20→12:20 熊谷の頭 12:20→12:45 蛇崩山 12:55→13:23 熊谷の頭 13:29→14:30 尾根分岐 14:30→15:18 上葛川



ネット出入口 (下)



熊谷の頭 (平成24年当時の標識も残っている)